

中原校区大運動会

9月10日

南小国町立中原小学校PTA新聞

ど
ん
ぐ
り



No. 135

令和4年

12月23日発行

中原小PTA
広報委員



世の中の新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、本年度も参加者数の制限をした上で半日開催となった中原校区大運動会。その一方で、withコロナの機運も高まってきた風潮をいち早く捉え、三年ぶりに中原音頭を復活させるなど、できる限り中原校区らしい運動会を目指した運動会でもあります。運動会当日は見事な秋晴れに恵まれ、絶好の運動会日和。入場行進を皮切りに、徒競走、団体競技、応援合戦にダンスなど、来賓・保護者等の方々の熱い応援を背に頑張った中原っ子たちです。規模縮小ではありましたが、中原校区全体が「チーム中原」として一体感をもって臨めた運動会であったと思います。

運動会当日に応援をいただいた保護者の方々、本当にありがとうございました。来年こそは、地域の方々をお招きして、校区大運動会として盛大に開催されることを願っております。



9月5日



9月3日

中原音頭の練習に、サプライズゲストが登場！

第一面でも書きましたが、今年の運動会では三年ぶりの中原音頭復活を目指しました。そして、ゲストティーチャーをお招きして中原音頭の練習。まずは、中原音頭をよくご存じの地域の方々に登場していただきました。と、ここで：サプライズゲストの登場。サプライズゲストが姿を現すと、会場の肖像権規定により、サプライズゲストの写真を新聞に掲載できず残念ですが、サプライズゲストは、熊本県の営業部長兼しあわせ部長をお仕事としていらるということだけはお知らせしておきます。(笑)

夏の日差しで元気づいた雑草が、運動場のあちらこちらに顔を出しており、運動会に向けて整備をどうしたものかと頭を抱えていた土曜日早朝。およそ五十名の婦人会の方々が午前六時頃からご集合くださり、ものの三十分ほどの時間であつという間に草一つ生えていない運動場にしてくださいました。

婦人会の方々による除草作業

地域のお友達同士で会話を楽しみながらも、手を休めることなく手際よく作業してくださったお姿がとても印象的でした。婦人会の皆様、本当にありがとうございました。

三年ぶりの空きびん回収ということで、保護者・地域の方々のご協力の下に回収作業を無事に終えることができました。回収日は、当日未明から鳴り響く雷雨で「どうなることか？」と心配しましたが、作業開始の午前七時には晴れ間も見え、また気温もほどよく作業を進めることができました。空きびん回収の収益金につきましては、PTA会費として繰り入れ、有効に活用いたします。

空きびん回収
お世話になりました



8月21日



空きびん回収 収益金 ¥20,332 でした!!

中原小学校ホームページのお知らせ

中原小学校
ホームページ
QRコード



この PTA 新聞に掲載している各行事の詳細については、中原小学校ホームページ「学校生活」などでご覧いただけます。

※ しかも YouTube つき! (^-^*)
なお、できるだけ更新に努めますが、学校業務の込み具合によっては、更新が(かなり? (^_^))遅れてしまうこともあります。
あらかじめご了承ください。<(_)>



アクセスカウンタ数
目標 280000!!

手元の記録によると、令和4年4月12日時点の中原小学校HPアクセス数は、242828です。そして、この新聞を執筆している12月20日時点では263595。約9ヶ月間で21000のアクセス数をいただいていることとなります。本当に感謝です。(^-^*)途中、他の業務が立て込んでHPの更新が途絶えたこともありましたが、できれば年度末までに280000のアクセス数を達成したいと思っています。お時間のあるときには、ぜひ中原小学校HPを閲覧してください!!

中原小学校学校運営協議会 発足！！

学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）とは？
 学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

法律（地教法第四十七条の五）に基づいて教育委員会が学校に設置する学校運営協議会には、主な役割として、
 ○校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
 ○学校運営に関する意見を教育委員会または校長に述べるができる。
 ○教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる。
 の三つがあります。

新しい学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程の実現」の重要性がうたわれていますが、学校運営協議会の活性化こそが、「社会に開かれた教育課程の実現」に向けた鍵を握ると言っても過言ではありません。

中原小学校学校運営協議会について

南小国町も、本年度から町内四つの学校にそれぞれ学校運営協議会を立ち上げました。中原小学校学校運営協議会もそのうちの一つです。

令和四年五月二十日：記念すべき第一回の中原小学校学校運営協議会が開催されました。会に先立ち、教育長先生から協議会メンバー一人一人に委嘱状の交付をしていただきました。まさに、「地域と共にある学校」への第一歩です。令和四年度の中原小学校学校運営協議会員は、左のような方々によって構成されています。十二月二十三日現在で、すでに第五回の学校運営協議会を行っている中原小学校学校運営協議会ですが、回を重ねるごとに、各運営協議会員様の熱心な協議を経て、地域の核となる中原小学校が具現化されていることを肌で感じていきます。

- 地域学校協働推進員 様
- 地域コーディネーター
- 婦人会長 様
- PTA会長 様
- 中原保育園代表者 様
- ナカバルツクル会 様
- 区長 様
- 後援会長 様
- 老人会長 様
- 民生児童員 様
- 社会福祉協議会 様
- 中原小学校長 様

ご意見・ご感想をお待ちしています！

中原小学校学校運営協議会の活動に対するご意見、ご感想をお寄せください。お電話の場合は、中原小学校教頭宛（電話 42-0044）に。スマホ等で右のQRコードから送信していただいても構いません。もちろん、学校に直接お越しくださっても大歓迎です！（^-^*）

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています！



ツナグバ オープン！

中原小学校学校運営協議会の協議によって、「中原招学校ツナグバ」が、十二月八日にオープンしました。「ツナグバ」とは、中原小学校の旧パソコン室を地域の方々に開放し、例えば会議や作品展会場、製作活動等に使っていただきながら、その合間をぬって授業のゲストティーチャーに、あるいは時間が合えば昼休みに子ども達の遊び相手に...というように、学校と地域の方々のウインウインの関係（相互に利益がある関係）を築ききっかけになればというねらいで企画したものです。本年度六月の第二回学校運営協議会で議題として挙げ、第三回でツナグバ開設委員会を立ち上げ、第四回でツナグバ部会と運営規約について協議し、このオープニングの日を迎えることができました。

オープニング当日は、南小国町教育委員会教育長様、河津製材所様を来賓としてお招きし、ナカバルツクル会代表の方にもテープカットに参加していただきました。このテープカットには、中原小五年生七名も加わり、フロアにいたその他の学年児童と一緒にオープニングセレモニーに参加することで、今、重要と言われている五者連携（学校・家庭・子供・地域・行政）でツナグバのオープンに臨むことができました。これは大きな成果だと思っています。また、「ツナグバ」の飾り付けやその他レイアウト等についてもナカバルツクル会の皆様のご協力の下に進めて参りました。ナカバルツクル会の方々は、引き続き、「ツナグバ」のオープンを語ることはできません。心より感謝申し上げます。

現在は、この「ツナグバ」のロゴを募集している最中です。「ツナグバ」のロゴが決定しましたら、河津製材所様から寄贈された看板にロゴを施し、「ツナグバ」のシンボルとして大切に引き継いでいきたいと思っております。このデザインについては、皆様方から大々的に募集すると共に、「ツナグバ」の活用アイデアや利用・使用申込等も随時受け付けていますので、ぜひ多くのご意見をお寄せください。